

コロナ禍での地域活性化への取り組み

日本航空株式会社 執行役員 本田俊介

1. 航空業界の現状

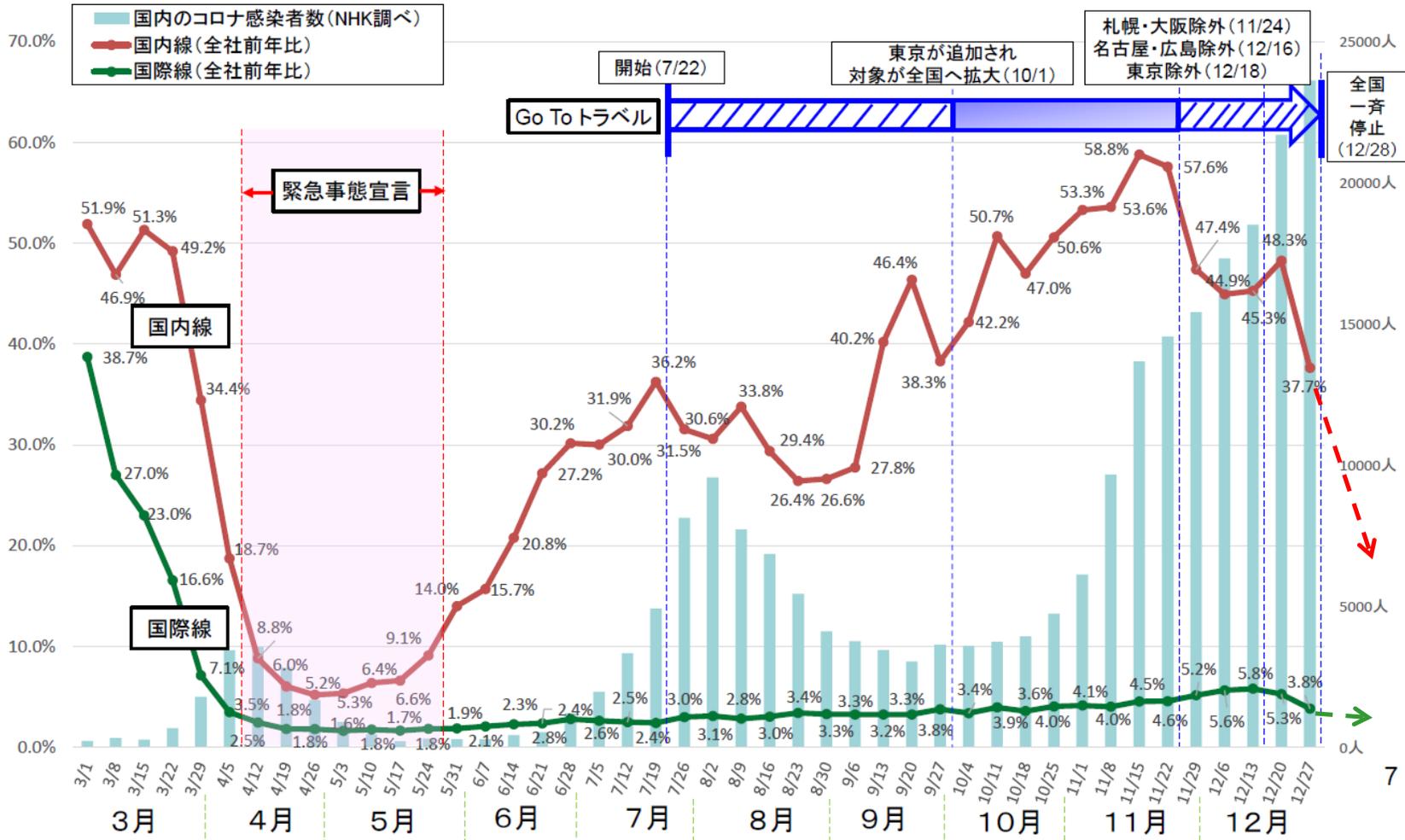
2. コロナ禍における取り組み

3. 地域活性化に向けた取り組み

1.航空業界の現状

本邦航空会社の国内線・国際線旅客数の推移 ※1/6時点 国土交通省

※主要本邦航空会社(大手、中堅、LCC)10社を計上
(ANA/JALはグループで1社としてカウント)



- ・コロナの感染拡大の後を追うように航空需要は低迷
- ・国内線は秋以降、回復傾向も感染再拡大で再び大幅な減少
- ・国際線は、各国の感染拡大により入国制限で低迷が続き、変異種の出現で更なる規制強化

2. コロナ禍における取組み

航空輸送

- ・客室、手荷物スペースを活用したマスクなど医療物資の輸送。
- ・各種支援団体の防護服、マスク輸送への協力。
- ・各国邦人、ロシア在留台湾人留学生の帰国支援。

資材・スキルの有効活用

- ・整備資材を活用したフェイスシールド・遮蔽版の作成、自治体等への提供
都庁、大田区、成田日赤病院、千葉県庁、国際医療福祉大、成田ゲートウェイホテル等
- ・機内搭載Give awayを活用した子ども用マスクの作成、羽田・成田近隣保育園等への配布。

その他

- ・空港での献血実施、成田近隣農家の収穫支援
- ・休校中の中・高生にオンライン航空キャリア教室実施
- ・助成金手続き業務や、PCR検査関連事務処理などの支援
- ・機内食、米などを児童関連施設に寄付。

フェイスシールド



近隣農家の支援



子ども用マスク製作風景とマスク



奥尻高校へのキャリア教室



特別給付金に関わる事務作業支援



ニューノーマルへの対応、“新しい旅”のスタイルの提案

～「密にならない」・「人との接触軽減」・「小規模分散型」を
キーワードに安全・安心な旅行を～

- ・日帰りダイナミックパッケージ、1棟貸切旅、リモートトリップ、ワーケーション、ブリージャー、グランピングなど新しい旅のカたち。
- ・非接触端末、自動運転車椅子、セルフバゲージドロップなど、新技術の活用。



地方創生～地域の活性化の一層の促進～

- ・新JAPAN Projectを通じた地域産業支援の更なる促進
- ・ふるさと納税を活用した「コト」体験創出
- ・客室乗務員を地方に配置し、地方の新たな魅力発掘
- ・地域事業本部の設立（11月）

新JAPAN PROJECT



テクノロジーを活用した新規事業育成

- ・ドローン貨物輸送、無人ヘリ貨物輸送など、新技術を活用した事業の育成・地域の活性化



3. 地域活性化に向けた取り組み

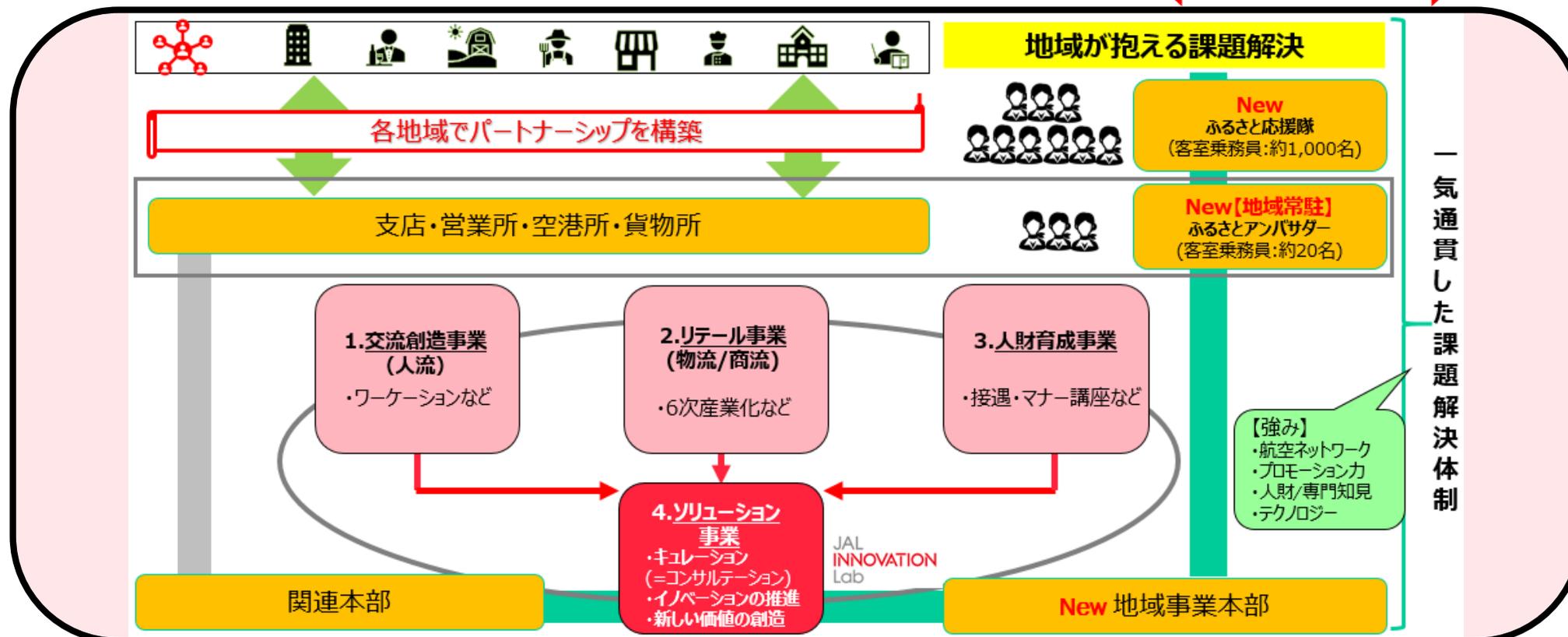
「地域事業本部」の事業目的と4つの重点事業



JAPAN AIRLINES

事業目的

全社の事業目的は、「地点と地点をつなぐ、人と人をつなぐ」ことで、流動を作り 社会、経済の活性化に寄与することである。



「総合パンフレット」について



**ヒト・モノ・地域をつなぐ
地域の元気が、日本を元気に!**

地域や社会とのパートナーシップも大切にしたい。
人、人と、地域と地域、地域と世界をつなぎ、
地域の未来を築くために私たちができることは何か？
そんな思いを込めたJALのプログラムをご案内いたします。

目次

新たな旅のスタイル

- ニューノーマル時代にマッチした「新しい旅」…………… p 3
- ワークেশーン・シェアオフィスの新しい形「JALハウス」…………… p 4
- ビジネスジェットによる新たな移動手段…………… p 5

観光客を惹きつけるコンテンツの創出

- 効果的な情報発信による地域のブランド力向上…………… p 7
- アニメーションによる地域活性化…………… p 8
- 歴史的建造物を再生活用した観光まちづくり…………… p 9
- JALマイレージバンクを活用した地域活性化…………… p10

インバウンド復活時に備えた施策

- インバウンド受入体制構築/オンラインセミナー…………… p12
- 地域へのインバウンド誘客促進…………… p13
- インバウンド向け多言語飲食メニューの地域展開…………… p14

地域産業の活性化

- 地域の伝統工芸品の創出…………… p16
- 地域産品を活用した商品開発と販路…………… p17
- 地域の農水産品の輸出と海外販路の拡大…………… p18
- JALのサービスと連携…………… p19

地域活性化に資するスペシャリストの育成

- JALの客室乗務員によるマナーレッスン…………… p21
- 地域の次世代を担う人材の育成…………… p22
- JALシリコンバレー視察活用による人材育成…………… p23

ドローン運用に取り組む

- ドローンによる新たな観光・輸送サービスの展開…………… p25

■ 地域の資源を活用して新しい旅のコンテンツを開発する



- 地域の観光資源とアニメを掛け合わせた「アニメツーリズム」を推進
- アニメの舞台となった地域を周遊する旅行商品を地域と共に造成し、SNSを通じてファンに展開した



- 地域の文化資源であるに「忍者」とスポーツを掛け合わせた「忍者トレイルラン」を伊賀市とともに開発
- 「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」にて「文化ツーリズム賞」を受賞

アンバサダー活動「高千穂ワーケーション」(12月26日)



■ 交流人口の拡大～宮崎県高千穂町～

企画観光課、財政課の皆さまとワーケーションを見据え、高千穂町内の神社や高千穂峡などの観光施設や宿泊施設の整備についてミーティングをしました。

ワーケーションを展開していくにあたり、様々なパッケージのプランを作ることはもちろん、高千穂を余さず満喫してもらうため、不便なく仕事に集中できる環境整備も必要であると感じました。

その上で、高千穂町民の皆さまの温かさを実感してもらえる交流プランの構築も必要であると感じています。

高千穂は神話の里として有名ですが、更にそこに高千穂町の魅力として、町民のみなさまの温かさや自然の豊かさを感じてもらえるような、農業を取り入れた農泊の提案や、農業体験ツールの確立などによる取り組みも考えていきたいです。



宮崎出身、吉田がレポートします！

担当エリア：
宮崎県、大分県、福岡県





JAPAN AIRLINES

九州支社活動「福智町スイーツ大会、観光列車」

日本航空×福智町取組 ①

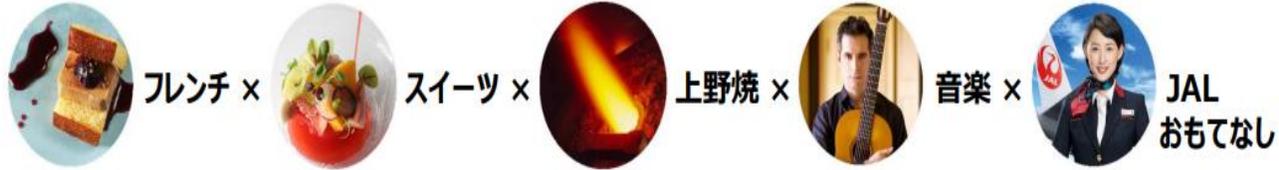
JAL福智スイーツ大茶会

2日間の来場者数：3万2千人（福智町人口2万3千人）
☆西日本最大級のスイーツイベントに発展！



日本航空×福智町取組 ②

フレンチ&スイーツ列車「シュガーロード号」



■ 地域や他の企業・学校と協力して新しい商品を開発する

＜香川県特産の「小原紅早生(おばらべにわせ)みかん」の振興を支援＞

- 地域の特産品を選定（JA香川さまとのコラボレーション）
- 女子栄養大学の学生によるアイデアコンテストを実施
- カルディコーヒーファームとの共同開発・販売



女子栄養大学の学生とのコラボレーション

アンバサダー活動「徳島フィッシュカツサンド」発表(1月21日)

徳島の魅力 世界へ発信

日航アンバサダーら知事訪問

客室乗務員の経験を生かして地域振興を支援する日航アンバサダーら21日、県庁に飯泉知事を表敬訪問した。

昨年11月、四国4県を担当するアンバサダーに就いた高松支店(高松市)の坂田萌さん(33)と兵庫東淡路市出身の澤邊麻衣さん(35)と松山市出身の「自分

分の足で歩いて徳島の宝を探し、世界中に魅力を発信したい」と意気込みを語った。

客室乗務員と兼務しながら各地の地域活性化を支援する「ふるさと応援隊」の徳島担当5人もウェブ会議形式で参加。「熱気あふれる阿波踊りやおいしい食べ物といった徳島の魅力を一人でも多くの人に伝えたい」などと抱負を述べた。

知事は「アフターコロナを見据えた活動が大切。即戦力として期待しており、

合格内定者 80人を発表

阿南高専(阿南市)は、2021年度推薦入試の合格内定者80人(男子人、女子34人)を発表した。

コース別内訳は▽機械人(15人、3人)▽電気

最高	最低	天気
徳島 12.0 (9.4)	-0.2 (2.4)	晴
池田 14.0 (7.4)	-2.6 (-0.7)	晴
阿南 11.9 (9.8)	2.4 (3.4)	晴
高松 10.9 (9.1)	-1.5 (1.4)	晴
高知 15.9 (11.6)	3.5 (1.5)	晴
松山 13.9 (9.5)	1.4 (2.1)	晴
大阪 13.9 (9.2)	1.2 (2.6)	晴
神戸 11.0 (8.7)	1.6 (2.5)	晴
京都 13.6 (8.6)	-0.4 (1.0)	晴
和歌山 14.5 (9.4)	0.2 (2.4)	晴
広島 13.3 (9.4)	0.5 (1.5)	晴
札幌 3.8 (-0.9)	-5.5 (-7.3)	晴
仙台 9.0 (5.0)	-2.5 (-2.0)	晴
東京 10.7 (9.3)	-0.3 (0.8)	晴
名古屋 13.1 (8.8)	-1.2 (0.7)	晴
福岡 16.0 (9.6)	3.2 (3.3)	晴
那覇 23.0 (19.3)	20.0 (14.5)	曇

日出 7:04

発表会風景@徳島県庁





JAPAN AIRLINES

ご清聴ありがとうございました

